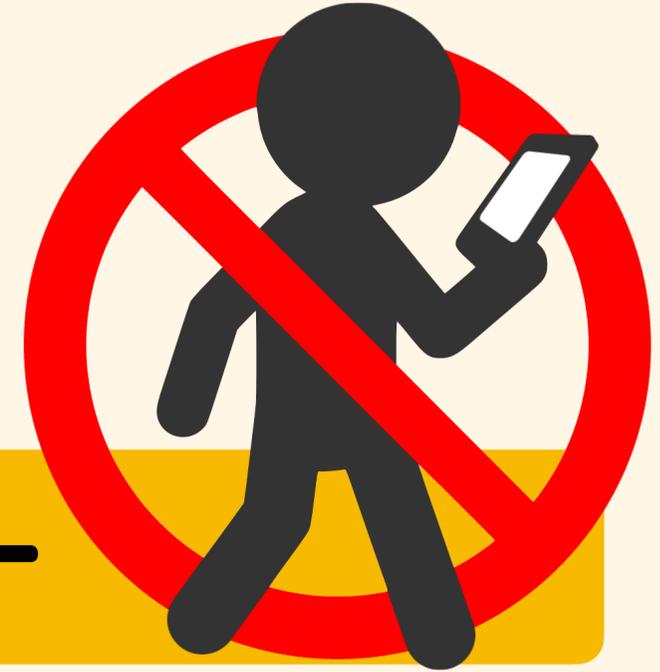


11/1授業参観発表



アンチ・スモビー

——歩きスマホをなくすには——

13班

亀岡真衣・織田麻衣那・山田葵斗・古田禎樹・高木莉吏

道が狭い・ガタガタ

- 自転車の車輪がはまる
- 転びやすい
- 怪我しやすい

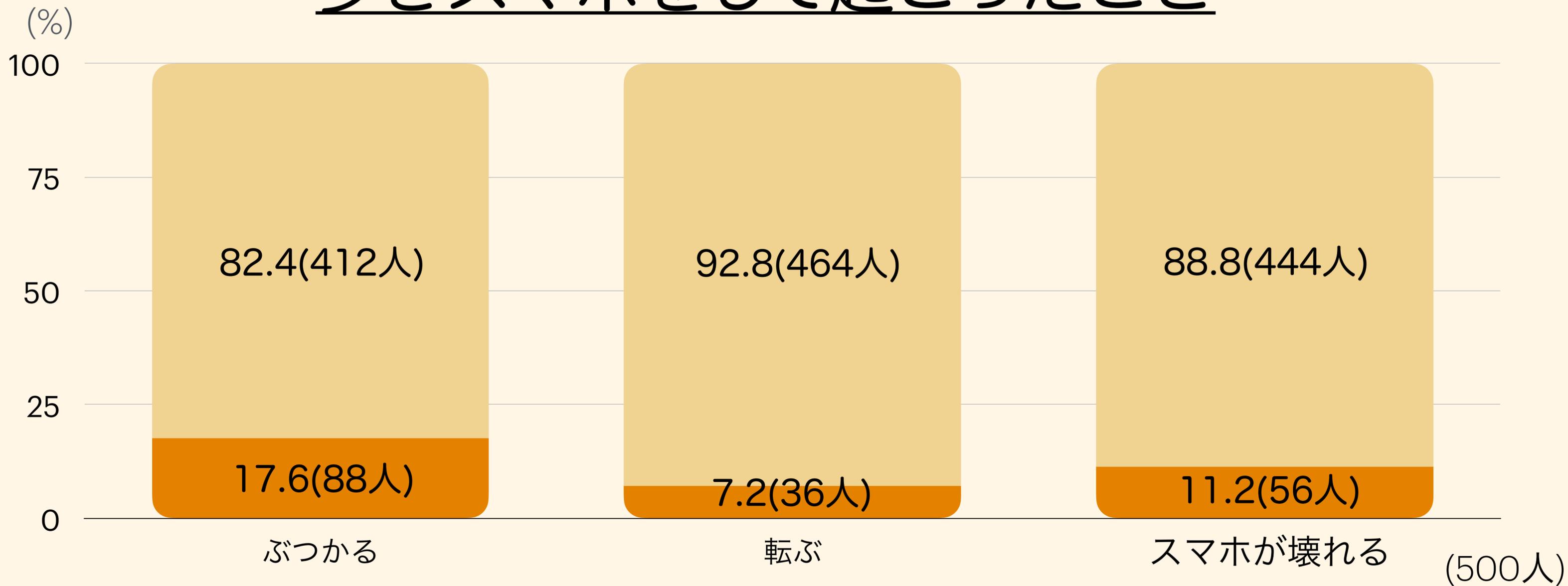


歩きスマホは危険！



- ない
- ある

歩きスマホをして起こったこと



歩きスマホの問題

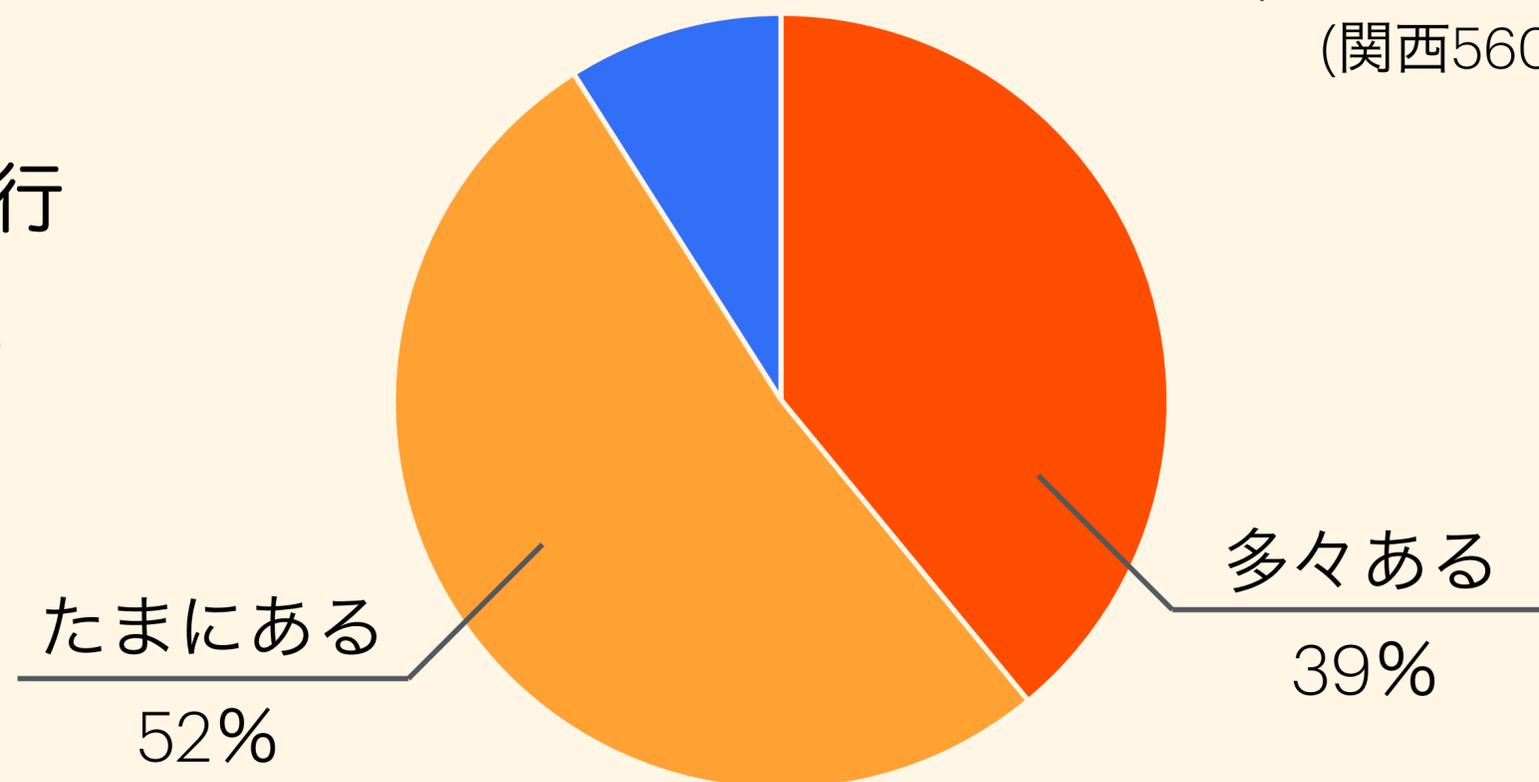
歩きスマホの現状

- 2022年に**553件**事故が発生した
- 事故は愛知県が多く、増加傾向にある
- 江南市で「歩きスマホ防止条例」を施行
- 歩きスマホが危ないと感じた人は93%

「歩きスマホが危ない」と感じた経験

(首都圏1100人)

(関西560人)

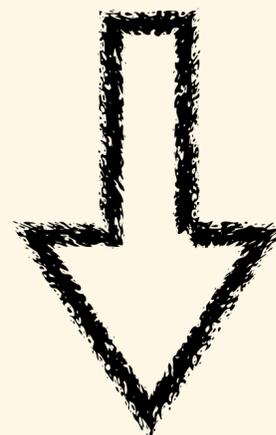


※小数点第一位を四捨五入しているため、合計しても100にはなりません

①歩きスマホ防止アプリを開発

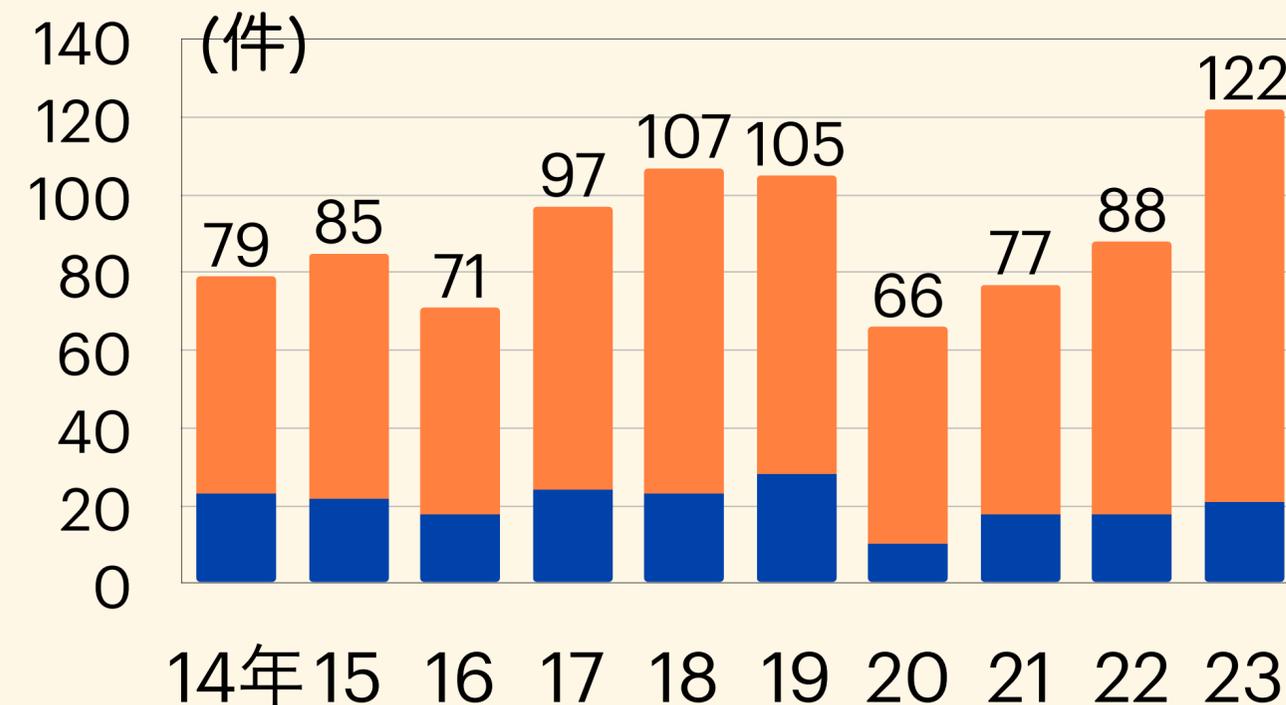


- 歩きスマホの禁止を呼びかけてもあまり変化はない
- 重傷事故や死亡者数が増えている



「歩きスマホ防止アプリ」を設ければ、減るのではないか

携帯・スマホの使用による
死亡・重症事故件数の推移 警視庁調べ



重症事故
死亡事故

①歩きスマホ防止アプリを開発

NTT **docomo** が開発した歩きスマホ防止アプリ



定期購入しないと使えない

誰でもどのキャリアでも
使えるようにしたい！



実際に新宿駅で行われている駅の広告

歩きスマホ防止アプリのメリットと課題点

メリット

- 確実に歩きスマホを防止できる
- 事故を減らすことができる

課題点

- 費用がかかる
- 時間がかかる
- 利用者がインストールしてくれない
- 歩きスマホをうまく検知できない

アプリの開発には課題が多い

他の県で行っている政策

東京都世田谷区

歩きスマホ防止シールを作って防止している



兵庫県尼崎市 JR尼崎駅

どの角度から見ても目が合うポスター



他の国で行っている政策

ハワイ・ホノルル

道路横断中の電子機器使用禁止法を制定



ニュージャージー州

歩きスマホに対し罰金85ドル (約12000円)



東栄広告株式会社

- 1957年設立
 - 広告代理店
 - 東京に本社、埼玉、栃木、群馬に拠点を展開
-
- コミュニケーションプランニング
 - メディア関連事業
 - SNSマーケティング
 - セールスプロモーション
 - イベント関連事業



修学旅行で学んだこと

- 5W1H を意識する
- 0.3秒見ただけで気になるデザイン
- 見る人の立場に立って考える
- フォントや文字の大きさを統一する

いつ	When
どこで	Where
だれが	Who
何を	What
なぜ	Why
どのように	How



ポスター紹介

- 印象の強いフォントを使用した
- 「歩きスマホはダメ」を強調した
- イラストを使用して解りやすくした
- 「禁止」を表す赤色で文字を書いた
- 黄色の背景は「注意・警告」を表す



歩きスマホは大変危険です！

まとめ

- ・ 愛知県での歩きスマホの交通事故が多いこと
- ・ 他の市では歩きスマホ防止の条例をしていて、効果がなかったこと
- ・ 防止アプリを制定してもあまり変化がなかったこと
- ・ ポスターを作る上での重要なこと



歩きスマホの危険性をたくさんの人に伝えていきたいです



**歩きスマホは
大変危険です**

ご清聴ありがとうございました。